



◆男子 (Male)

メクボ・ジョブ・モグス

Mekubo Job Mogusu アイテム

1986年12月25日生/23歳 165cm・50kg

2001年にケニアから来日し、山梨学院大学附属高校に入学。インターハイや全国高校駅伝で頭角を現し、仙台育英高校に留学していたサムエル・ワンジル（北京五輪金メダリスト）とは同じ年で好敵手として競い合った。山梨学院大学に進んでからも着実に力を伸ばし、箱根駅伝ではチームのエースとして活躍。特に2008・2009年には2年連続で「花の2区」の区間新記録をたたき出す快走を見せ、“箱根駅伝史上最速のランナー”とも言われた逸材である。

札幌国際ハーフマラソンでは05年、07年、08年と3度の優勝、丸亀国際ハーフマラソンでは07年、09年に優勝を飾っている。昨年12月には福岡国際マラソン選手権で初のフルマラソンに挑戦。しかし残念ながら、給水時に他の選手と接触して左足に不調をきたし、31.4キロ地点で無念のリタイアとなった。その左足に不安を残したまま出場した今年2月の丸亀国際ハーフマラソンでは、同じケニア人のギタウ・ダニエル（日大）に35秒差で敗れ連覇を逃しているだけに、本大会に賭ける思いは強い。モグスにとっては初めての仙台のコース。復活の走りに期待がかかる。

■自己最高記録

5000m：13分27秒14（2005年関東インカレ）

10000m：27分26秒56（2009年新潟選抜競技会）

ハーフマラソン：59分48秒（2007年丸亀ハーフマラソン）

■主な戦績

2009年 箱根駅伝（2区） 1時間06分04秒 1位（区間新）

2007年 丸亀国際ハーフマラソン 59分48秒 優勝



◆女子 (Female)

藤永 佳子

Fujinaga Yoshiko 資生堂

1981年8月15日生/28歳 170cm・52kg

その希有な才能が最初に開花したのは長崎県・諫早高校時代である。全国高校駅伝やインターハイで名を馳せ、高3（1999年）の時には5000mで15分22秒68の高校最高記録を樹立。高校生ながら世界陸上セビリア大会に日本代表選手として出場を果たした。高校卒業後は筑波大学に進学。1年時（2000年）にインカレ5000m優勝、2年時（2001年）のユニバーシアードでは5000m 3位、10000m 2位と順調な陸上人生を歩んでいた。しかし大学3年時以降、資生堂に入社してからも、肩の脱臼、アキレス腱痛、足の疲労骨折と相次ぐ故障のため実力を発揮できない日々が続いた。

それでも資生堂の弘山勉監督のもとでトレーニングを続け、2006年12月に全日本実業団対抗女子駅伝で1区を走り資生堂の初優勝に貢献。2009年3月には念願の初マラソンとなった名古屋国際女子マラソンで優勝。同年8月の世界陸上ベルリン大会出場の手を切った。世界陸上では14位に終わったが、名古屋国際で見せた驚異的な粘りは不屈のランナー人生とも重なる。今後の躍進を占う上でも本大会での走りが注目される。

■自己最高記録

5000m：15分22秒68（1999年国際グランプリ大阪）

10000m：31分47秒82（2001年兵庫リレーカーニバル）

ハーフマラソン：1時間9分29秒（2001年神戸全日本女子ハーフマラソン）

マラソン：2時間28分13秒（2009年名古屋国際女子マラソン）

■主な戦績

2009年 世界選手権（マラソン） 2時間29分53秒 14位（団体：銀メダル）

2009年 名古屋国際女子マラソン 2時間28分13秒 優勝